を体験交流から学ぶ

和歌山県・日置川

生きる力を育むほんまもん体験

海かがやき　山ひびく　清流日置川の里

南紀州交流公社では、体験交流を通して、互いに感動し心高まる旅となるよう努めています。

和歌山県白浜町日置川地域は、山、川、海と三拍子そろった「ほんまもん体験」の里。温暖で、恵まれた自然の中で営む農林漁業、脈々と受け継がれ育まれてきた生活文化、そこで暮らす穏やかで温かい人々が体験リーダーであり、民泊の担い手です。

民泊での家業体験は、ところてん作りをはじめ、石鹸作り、農作業など生活に根ざした多様な体験メニューがあり、生徒を家族の一員としておもてなし、一緒に笑い、時には叱り、互いに協力しあい生きる力を養うことを大切にしています。

安全で教育効果の高い受け入れ実施のため、シーズン始めには保健所、消防署、警察署による講習会を開催、「民泊受入マニュアル」を配布、防災対策と衛生対策の指導責任者を置き、安全管理、衛生管理を徹底。「インストラクター研修会」や「民泊受入講習会」を随時開催し、会員の資質の向上を図るとともに、簡易宿所営業許可を順次取得中です。

食事は、なるべく自家食材とし食材を採りに行くことから始め、新鮮な野菜や魚が「ほんものの味」を教えます。共同調理で初めて経験する魚さばきに感動したり、野菜に目覚めました。次もまは「若い方たちとの交流手の80代のおばあちゃんがつらく、お別れ式は互いの心の高まりを最高に感じるひと時です。担い手の80代のおばあちゃんの涙ぐむ生徒たちとの別れ帰りたくない」と言って生活体験を終え、「まだ流の場です。

1泊、2泊の農林漁家食事作りは楽しい体験交うになったと喜んだり、のみじん切りができるよ

ほんものの味を教わる民泊での食事風景

塩漬けの梅を干す作業。今年の梅干しは、うまく漬かったかな

日置川エリアの体験交流で育む
生きる力と豊かな心

農林漁家生活体験（民泊）は、1地域で民泊受け入れ協力家庭が100軒。400人の受け入れが可能。山・川・海エリアに幅広く分布し多様性があり、対面式会場（地域中央）から左右へ30分圏内。

熊野古道安居の渡し

た楽しみ」と畑の手入れに精を出しています。

民宿・ホテル

地域内には10軒の民宿があり、クラス別、男女別で分宿できます。

全員での宿泊には白浜温泉のホテルを利用できます。

おすすめ「ほんまもん体験」

農林、漁業、伝統工芸、歴史文化、味覚など40種目の体験プログラムがあり、民泊や民宿泊と組み合わせるとより効果的です。

林業間伐体験

紀州木の国で山を守り育てる間伐作業。のこぎりを使って木を倒し、危機管理も学習します。

紀州備長炭の作業体験

和歌山県の無形文化財である紀州備長炭作りを通し、自然との共生、人々の知恵、伝統産業を学びます。「窯出し」は、1300度の熱い炎との闘い。

間伐体験する中学生

ドラゴンボート体験

8艇のドラゴンボートがあり、1艇に生徒9人とインストラクター1人が乗り込み、操作練習をしながら日置川の自然を満喫します。最後に10人が息を合わせ心一つにして競争。協調性とチームワークの重要性を学びます。

アクセス

新大阪から日置川までバスで3時間弱。2015年度、高速道路が日置川まで開通すると2時間半弱。特急くろしお号で京都～白浜間が3時間弱、新大阪～白浜間が約2時間半。

「南紀州ほんまもん体験」へのお越しをお待ちしています。

一般社団法人　南紀州交流公社
〒649-2532　和歌山県西牟婁郡白浜町安居306-1
TEL 0739-53-0055　FAX 0739-53-0055
E-mail: minamikishu@samba.ocn.ne.jp
URL http://www.minamikishu.com/

和歌山県

バーチャルではない感動体験

和歌山「ほんまもん体験」の修学旅行

和歌山県では、美しい海、山、川など自然や深い歴史、文化、和歌山県ならではの伝統産業など地域の宝を、そこに暮らす人々との触れ合いの中で体感する「ほんまもん体験」を活用した修学旅行を提案しています。

ほんまもん体験の魅力は、世界遺産に登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」や、ラムサール条約に登録された串本沿岸海域など、世界が認めた環境の中で体験活動ができることです。

また、自然豊かな和歌山県では、「海」「川」「山」が比較的近くにあるため、午前中に海の体験をして、午後に山の体験をするなどバラエティーに富んだプログラムを効率的に組み立てることができます。

近年、要望が高まっている民泊についても、受け入れ地域が、県の中域に位置する自然豊かな日高川町、清流日置川沿いに豊かな農村地帯が広がる白浜町日置川地域、本州最南端の町、黒潮おどる串本町と3地域ございます。

ニュース作り

和歌山県は、優れた食味を持つ南高梅の発祥地であるとともに、全国一の梅産地として知られています。

梅もぎ体験は、6月の収穫期に南高梅の園地に入って、自分の手で果実を収穫することができます。また、梅干作り体験では、天日干しなどの生産工程の一部を体験したり、調味液で味付け体験もでき、梅ジュース作りはもちろん、調味料も地元の厳選素材にこだわって製造しており、12年度「優良ふるさと食品中央コンクール」国産畜水産品利用部門で農林水産大臣賞を受賞した商品です。この缶詰と同様の食材や製造行程を踏みながら行う「まぐろ缶詰づくり体験」は自分だけのオリジナルラベルのツナ缶をお持ち帰りできる体験で、食品加工を通じてマグロへの知識を深めることができます。

スノーケリング体験

ラムサール条約に登録された串本の海を実際に泳ぐプログラムです。マスクにフィン、スノーケルの簡単な道具にウエットスーツを身に付けて海に入れば、そこは本州とは思えないようなすばらしいサンゴの海。潮の流れもなく浅く穏やかな海底には、見渡す限りサンゴが群生しています。

また、スタッフがウニやヒトデなどの生き物を直接取り上げて参加者に触れていただくタッチングを通じて、生き物への理解が深まる体験となっております。

◇　◇　◇

和歌山県では、県内の受け入れ地域相互間の連携を図るため、和歌山県体験型教育旅行誘致協議会を設立し、皆さまの下見やプランニングのお手伝いをさせていただいております。資料のお取り寄せや下見現場での随行など、お気軽にご相談ください。また、ぜひ現場で「ほんまもん体験」を体感してください。

梅もぎ＆梅干し、梅ジュース作り

まぐろ缶詰づくり体験

おすすめメニュー

梅もぎ＆梅干し、梅ジュース作り

スノーケリング

和歌山県観光局観光交流課
〒640-8585　和歌山市小松原通1-1
TEL 073-441-2785　FAX 073-427-1523
E-mail:e0625001@pref.wakayama.lg.jp
URL http://www.wakayama-kanko.or.jp/

広島湾ベイエリア・江田島

広島湾の美しい自然 碧い海と緑あふれる島

広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会は、広島県、山口県にまたがる7市6町（広島市、呉市、江田島市、廿日市市、大竹市、岩国市、柳井市、坂町、安芸太田町、大崎上島町、北広島町、周防大島町、和木町）の自治体や経済団体などで構成。地域の自然や生活文化を生かした体験プログラムで、教育旅行の受け入れを行っています。

当地域は厳島神社（宮島）や原爆ドームなど、日本を代表する歴史文化遺産を有し、平和学習はもとより、日本の伝統や歴史文化を体験学習できます。また、カキ養殖をはじめ、底引き網漁、吾智網漁、刺し網漁などの漁業、「みかん」をはじめとした野菜や柑橘類の栽培にも適しており、他の地域にはない自然環境の中で、農林漁業を体験できます。さらに、島しょ部や山里に暮らす人々との民泊体験では、心の交流を深め、子供たち一人一人の大切な思い出として刻まれます（別項＝大崎上島町を参照）。

広島湾ベイエリア内の原爆ドーム（上）と厳島神社

みかん農家作業体験

瀬戸内の段々畑から見渡す瀬戸内の多島美は最高です。みかんの作業体験では、収穫をはじめ、剪定や肥料やりを行うことにより、みかんの効能と農業の実態を学ぶことができます。

海上自衛隊第1術科学校の見学

海軍兵学校は、明治21年8月に東京築地から移転し、米国のアナポリス、英国のダートマスとともに世界3大兵学校としてその名を馳せ、数多くの将校の卵たちが厳しい訓練を受け、日本海軍の要として巣立って行きました。

現在、構内にある教育参考館には、旧海軍関係の歴史的資料約1200点が展示されており、神風特攻隊員たちの遺書や遺品は、見る人の心を強く打ちます。

民泊先で家族と一緒に料理作り

地元の人々に迎えられる入島風景

江田島市は、広島市の南、広島湾の中央に位置し、年間平均気温16・6度と瀬戸内海特有の温暖な気候と瀬戸内海に面した海岸線は変化に富み、自然の美しさがあふれています。

主要な産業は1次産業で、カキ養殖を代表とする漁業、温暖な気候を生かしたみかん、キュウリなどの農業が盛んに行われています。この他にも、江田島焼や紙布、シーカヤックといった、伝統工芸、スポーツ、レジャーも盛んであり、広島の平和学習と併せて、バリエーションに富んだ教育旅行を提案することができます。

民泊体験（ホームステイ）

江田島市では、現在70軒の受け入れ家庭に協力をいただき、約280人の受け入れが可能です。今後、400人の受け入れを目標に取り組んでいきたいと考えています。

江田島市の民泊体験では、生徒をお客さまとしてではなく家族の一員として迎え、祖父母の年代とのコミュニケーションを図ることにより、家族の絆や信頼関係の大切さを実感することができるため、教育効果の高い体験になると考えています。

カキ打ち体験

江田島市は、カキのむき身生産量が国内で2位を誇り、本場広島カキの主力を担っています。カキ打ち体験では、カキがどのような作業過程でできるかを学び、江田島のカキを間近に触れていただけるように用意しております。

カヌー体験

術科学校の見学

広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会
（広島商工会議所　商工部　観光振興チーム内）
担当（小田・大巳・近棟）
営業時間　月～金曜日　8：30～17：30（祝祭日は除く）
〒730-8510　広島市中区基町5-44
TEL 082-222-6651　FAX 082-222-6411
E-mail:Hiroshima@hiroshimacci.or.jp
URL http://www.hiroshima-marugoto.jp/

広島湾ベイエリア・大崎上島

瀬戸内海の自然と歴史 人情を感じる感動の島

広島県大崎上島町は、瀬戸内海のほぼ中央に位置する面積43・29平方㌔、人口約8300人の離島です。本土とは、竹原、安芸津港とフェリーで海上約30分で結ばれており、その他、大崎下島、大三島、今治市との航路もあります。離島ではあるものの、山陽自動車道・広島空港などにより主要都市とは短時間で結ばれています。

瀬戸内海特有の温暖な気候と風光明媚な環境の中、島という限られた土地に生き、造船業海運業、ミカン、レモン、デコポンなど多種類の柑橘栽培をはじめとする農業、豊富な魚種が水揚げされる島の特性、文化を生かしたさまざまなメニューを用意しています。200年以上の伝統を誇る櫂伝馬体験、瀬戸内の穏やかな海を渡り甘藻場で海の生命について学ぶシーカヤック体験、刺網漁や船釣り、波止釣りでとれたばかりの魚の調理体験、タイやヒラメの養殖漁業体験、温暖な気候で育まれたミカン、レモン、デコポン、はるみなどの多種類の柑橘やブルーベリー、イチゴ、トマトなどの栽培過程を学ぶ農業体験、広島商船高等専門学校の練習船「広島丸」を使っての海洋環境学習のほか、船舶の舵取り、エンジンルームの見学、ロープワークを学べる体験乗船など島をまるごと体験していただけます。

また、民泊登録家庭も100軒を超え、約400人の受け入れが可能で、漁業や農業の生業とする島の人々と生活を共にすることにより、豊かな自然と島独特の人情を感じていただき、島の人々の生き方や命の源の食生産を担う農山漁村の役割を考え、理解する機会となります。これら「まるごと島体験」から、自らの生活や家庭、生き方を省みる機会となり、生きる力とゆたかな心を育むきっかけになればと考えています。

みなさまに安心して来島いただけるよう安全、衛生、防火など各種講習会を行い、万全の体制でみなさまをお迎え致しますので、ぜひ大崎上島にお越しください。

売りのプログラム3点

櫂伝馬（体験人数112人）

和船文化を受け継ぐ大崎上島に200年以上も前から伝わる木造船。瀬戸内の水軍が偵察船として使用していたとされる櫂伝馬で心を一つにチームワークの大切さを学びます。

シーカヤック（体験人数100人）

瀬戸内海の無人島周辺を航海します。また、プランクトンや稚魚が棲む「魚のゆりかご」と呼ばれる瀬戸内海でも有数の甘藻場の観察をし環境学習をします。

農作業体験（体験人数100人）

瀬戸内海特有の温暖な気候で育った柑橘類やブルーベリー、トマト、イチゴなどの栽培過程から農業の厳しさを学び、食について学習します。

200年以上の伝統を誇る櫂伝馬体験

シーカヤック体験

温暖な気候の中で営まれる農業を体験

広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会
（広島商工会議所　商工部　観光振興チーム内）
担当（小田・大巳・近棟）
営業時間　月～金曜日　8：30～17：30（祝祭日は除く）
〒730-8510　広島市中区基町5-44
TEL 082-222-6651　FAX 082-222-6411
E-mail:Hiroshima@hiroshimacci.or.jp
URL http://www.hiroshima-marugoto.jp/